

**花巻市東和地域協議会**  
**平成29年度第1回会議記録**

日 時	平成29年4月27日(木) 13:30~14:34							
場 所	東和総合支所 第2会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	委 員	下林 育男	○		委 員	武政 文彦		○
	委 員	鎌田 榮一	○		委 員	宮川 節子		○
	委 員	菊池 保守	○		委 員	小原千賀子	○	
	委 員	浪越 直樹	○		副会長	松葉 孝博	○	
	会 長	吉田 英雄	○		委 員	小原さおり	○	
	委 員	小原 順	○		委 員	高橋さとみ	○	
	委 員	小原 茂明	○		委 員	平野 悠広		○
委 員	小田島邦子	○						
出席職員	建設部 部長 赤平勝也 都市政策課 課長 佐々木 賢二 公共交通係 粒針 満、主査 高橋和司 東和総合支所 支所長 菅谷一雄 地域振興課 課長 清水辰哉 地域支援室地域支援監 及川恒雄 課長補佐 菊池 泉、地域づくり係長 菊池功昇 市民サービス課 課長 俵 恵							
傍 聴 者	なし							

司会：菊池東和総合支所長地域振興課課長補佐

**1 開会（司会）**

**2 あいさつ（吉田英雄会長）**

一言御礼のご挨拶を申し上げます。まずもってきょうは、お忙しい中を12名の委員の方にご参集を頂きました。心から御礼を申し上げます。その他、市当局からも赤平部長をはじめ多くの関係職員にも参席を頂き厚く御礼申し上げます。ご案内のとおり本日は、市から公共交通に関してましての諮問を受けておりますので、慎重審議を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

### 3 諮問事項

#### (1) 花巻市地域公共交通網形成計画（素案）について

赤平建設部長から吉田会長へ諮問書の手交後、高橋都市政策課主査から資料により説明  
吉田議長（会長）

ただ今、説明が終わりました。それでは花巻市地域公共交通網形成計画（素案）につきま  
して、皆さんからご質問やご意見をいただきたいと思います。ご発言をお願いします。

菊池保守委員

2、3お伺いします。まず、1点目ですが確認事項になります。たしか市長が挨拶でスク  
ールバスに無料で乗れるというお話しをされたことを聞いた記憶があります。この点につ  
いて確認ということでお答えいただきたいと思います。

2点目ですが、全体の7年間の費用がお分かりになればお知らせ頂きたい。

わからなければ、当日予約について市長が言うには、東京大学と民間企業が共同開発した  
システムが一番良いんだとご挨拶の際に言っておられましたけど、当日予約にかかる費用  
はどれくらいなのか。公共交通全体の費用を見ますと8千万円くらい。今回の新しい計画  
の中での全体の予算というのがどのくらいになるのかをお知らせいただきたい。

最後に、東和地域4台の車両で当日予約の乗合交通を運行する計画になっていますが、車  
両の内訳ですが、予約乗合バスという表現になっていますので、たしか昔は予約応答型乗  
合タクシーといった記憶がありますが、タクシーからバスに名称が変わっておりますけど  
も、おそらくこの4台とも11人から数人乗りの車両かもしれません。その辺についてお  
知らせ下さい。

粒針公共交通係長

まず、1点目のスクールバスと一緒に乗れないのかというお話しですけども、そういった  
お声が地域を回っているなかでも頂戴しております。今回市営バスが廃止になるというこ  
とで、それに合わせてスクールバスに一般の方々も一緒に乗れるいわゆる混乗ができる制  
度の構築を目指して進めております。

制度上も出来るということでございますので、乗り方については、今、教育委員会とも協  
議をしながら、こういった形がいいのか検討してございますので、結論が出しだい皆様  
にお知らせしたいと思っております。

3点目の車両の内訳ですが、今4台というのを想定しております。いずれもジャンボタク  
シーを想定してございます。9人乗りですけども助手席には乗りにくいということで、8  
人乗りかける4台で32人を想定しております。

今回タクシーという名称からバスに変えたいというのは、タクシーですと通常庭まで入っ  
てきて荷物を載せてくれたりとか、足の悪い方を介助してくれたりとか、そういったこと  
がありますが、乗合の免許で運行しますので、通常のバスと同じ考え方で、介助ができな  
いことになってございます。

タクシーなのになんで介助してくれないのか等、そういった苦情が実際に多いというこ  
とで、その辺の誤解がないように、今回バスという名称に統一することで、石鳥谷の方でも  
先行して進めているところでございます。

経費のことについてでございますが、今お話しがありましたとおり現在約8千から9千万円くらいの経費がかかっております。このまま順次、目標どおり進んでいきますといわれる路線に対する補助の部分はずっと減っていく、その代わりに予約乗合バスにかかる分は増加していくというような形になり、目標年次とする平成35年には、1億1千から2千万円それくらいの規模になると見込んでおります。今の予算規模をあまり大きく外さないように構築していきたいと思っております。

菊池保守委員

乗合タクシーについては、制度上できないという話しも承知いたしておりますが、全国的にも車両ですけれども、小型車両のタクシーを使って予約乗合交通をやっている事例はないのですか。

粒針公共交通係長

小型タクシーを使っている事例もございます。ただ小型ですと4WDではないという状況もございます。かなり奥の方には行って行くときに車高が高い方がいいということもあり、人数を多く効率的に運べるということを想定して考えております。

吉田議長（会長）

他にございませんか。

菊池保守委員

当日予約のシステムにかかる費用についてわかりますか。

粒針公共交通係長

システム自体は、石鳥谷で先行して入れているもので年間140万円ぐらいです。システム自体、他のシステムに比べてかなり安いです。システムそのものはサーバーを一括管理しているような形ですので、それほど費用はかからないです。かかるのは車両の借上げの部分がかかります。

小原千賀子委員

スクールバスに乗れるということで、早い時間にバスがなくなってしまうのは心配だというお年寄りの方がいっぱいいたということですが、スクールバスを見ていると、学校の方で順番に奥の方から座らせるようにして、学校に着く頃には、満車になっていて、私は、谷内なんですけど、谷内地区は田瀬から来るスクールバスと山の神線の市営バス、それからジャンボタクシーとそれからもう一つ田瀬の方から違う車両が来るので、同じ地域ですが、別々に乗せて人数を調整してスクールバスで来るんですね。

それに、バスを使いたい人たちが乗る場合は、人数が予測できないことになるんですが、最後に乗る子供たちが座れないとか、危険な状態にならないような乗り方を検討されると思いますが、今まで、スクールバスとして使っていた、それから市営バスをスクールバスに兼用していたという路線があるので、どれに乗ったらいいか、同じバス停でも同じ時間に3台来るところもあるので、一般市民の方が、これは乗っていい、これは乗れないのというのが分からなくなると困るので、その辺をはっきりさせていただきたいです。

それから、計画（素案）の59ページの高齢者福祉タクシー券のところ、1枚500円の利用券となっておりますが、今年4月から500円券かそれとも100円券かを選択でき

るようになったので、追加しておいた方がいいのではと思いました。

粒針公共交通係長

お答え申し上げます。1点目のスクールバスの関係でございますが、ご指摘のとおり見た目にはかなり満車な状態で走っているかと思えます。ただ、きちっとつめて座った場合に、決して空席がないわけではございませんので、車両に対して子供たちの乗る最大の人数は決まっておりますので、車両の席に何人くらいの余裕があるかというのはお示しできると思えます。それらを踏まえましてお知らせしたうえで、子供たちが乗れなくなることをないように席を確保したうえで、その空席分だけ乗れますよということをお知らせしたいと思えます。

それから、どれに乗ればいいのかわからないというお話ですが、これからは町内を走るスクールバスは完全にスクール専用バスとなり、今までは、市営バスの中に子供が混ざっていましたが、今後は、混在しなくなりスクール専用バスになりますので、基本的にはバス停にとまるものはどれに乗っていただいてもよいことになろうかと思えます。

それから、59ページの分につきましては、この計画は28年度の状況をもとに作っておりますので、今年から開始された部分につきましては、反映できない状況ではありますがお話し頂いたことについては検討して参りたいと思えます。

吉田議長（会長）

よろしいですか。

小原千賀子委員

はい。ありがとうございます。

吉田議長（会長）

この間、東和小学校のPTAの総会でも、だいぶ意見が出ていたとの話しをお聞きしております。その辺をまたもう一回教育委員会の方で説明するということでしたので、それを説明できればいいのかなと思っております。

他にございますか。

混乗の問題は色々見えない部分がありますので、これからより良いものとしていければいいと思えます。なければ進行してよろしいでしょうか。

それでは進行いたします。本日欠席している武政委員から意見が出されておりますので、朗読をお願いします。

（菊池地域振興課課長補佐が朗読）

吉田議長（会長）

武政委員からの意見書を朗読していただきました。これにつきまして回答というのはありますか。

粒針公共交通係長

はい。市の考え方を話しさせていただきます。ご意見の趣旨は福祉サービスを含めた様々なサービスを受けたいというニーズに答えていくためには、サービスを提供している人を施設に運ぶ方法と逆にサービスそのものを人がいるところに運ぶという二つの方法があり、公共交通を考えるうえでは、そういった様々なジャンルのニーズを結びつける視点

が必要ではという意見と受け止めました。

そういった視点は、非常に必要であると認識をしてございます。そういったこともありまして、計画を策定するに際しましては、福祉でありますとか観光部門といった部署とも協議を行っておりましてその中では、サービスを受けたいというニーズが同じであっても福祉であれば、例えば、特殊な福祉車両が必要であったりとか観光であれば、周遊したいルートが異なっていたり、それぞれのニーズを満たすために、求められている手法が異なりますことから基本的には、別建てで考えていくことが必要ではないかという意見もだされたところでございます。

これらを踏まえまして、本計画においては、市民の生活交通の確保ということに主眼を置きまして、市民の日常生活における移動のニーズの部分に対応する、施策の方向性をお示しする形で作成しようとするものでございますので、ご理解をいただきたいと存じます。

吉田議長（会長）

市の考え方はそういうことであると認識したいと思います。それではもう一回、市の地域公共交通網形成計画の説明、あるいは武政委員への説明について、他に総じて、また、ご意見があればお伺いをいたします。発言をお願いします。

菊池保守委員

地域の実態から一つだけ意見を申し上げたいと思います。車両の質問をしましてですねジャンボタクシーでは入りきれない地域もあるということを理解してほしいと思います。

具体的には、ジャンボタクシーが来る公道まで出てきてもらう。高齢化率が非常に高い地域にあっては、民生委員さんが一番理解していると思いますが、一人暮らしのお年寄りが多い地域は、なかなか乗合交通を使いづらい。なぜかというところまでの距離が長いところがある。自分自宅の前が5mくらいの広い公道であれば、容易に利用できますけど、100から200mくらいあれば、歩いてそこまで出るという視点はない。究極のサービスはタクシーだと思いますけど、そういう意味では、なかなかカバーしきれないという現実もあるということをして是非ご理解いただきたい。それをどこまで公共交通サービスで担うのかという視点はなかなか難しいですが、地域の事情によっては、そういうこともある。全国の事例を見ると過疎地有償運送も、この中にもありますけど大臣の許可を頂いて地域の住民がサービスを行った事例もあります。すぐそこまでいかないにしても、そういう視点もやがてはくるのかなという気がします。以上、意見です。

吉田議長（会長）

只今、菊池委員から非常に前向きな発言がございました。これまた参考にして行きたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。他にございませんでしょうか。

（委員から「なし」の声あり）

無ければ質疑を打ち切りたいと思います。諮問を私どもうけておりますので、答申作業に入りたいと思います。よろしいでしょうか。

（委員から「はい」の声あり）

それでは、花巻市地域公共交通網形成計画（素案）につきまして、諮問を受けておりますので答申作業に入ります。原案を可とすることで答申してよろしいですか。

(委員から「異議なし」の声あり)

ありがとうございます。答申書の内容及び答申については、会長、副会長に一任いただき、後日各委員へ写しを郵送させていただきますので、よろしくお願いします。

#### 4 報 告

##### (1) 東和コミュニティセンター基本構想について

及川東和総合支所地域振興課地域支援室地域支援監が資料により説明

吉田議長（会長）

ただ今、説明がありました、東和コミュニティセンター基本構想について、報告事項ではありますが、せつかくの機会でもありますのでご質問やご意見がお受けしたいと思います。

菊池保守委員

中心市街地というのは、現在のコミセンの辺りという解釈でよろしいですか。

菅谷東和総合支所長

現在の場所も含まれております。

吉田議長（会長）

他にございませんか。

(委員から「なし」の声あり )

それでは、終了してよろしいでしょうか。

(委員から「はい」の声あり)

それでは、終了いたします。ありがとうございました。

#### 5 その他

無し

#### 6 閉会